

福祉問題

問 資格証明書を発行しない自治体へ

答 この村の特殊事情もある



小林英雄議員

【緊急施策】

**問** 金融危機の影響が、観光業を中心とする白馬村民の生活を脅かしています。景気悪化から村民の生活を守る緊急施策として、「福祉灯油」「利子補填」「村による緊急融資」「国保証取り上げ停止」などの施策が求められています。特に、長野県では「資格証明書を発行しない自治体」が60%を超え、全国でベスト3だけに、是非その仲間入りを実現してほしいが。

**村長**

灯油価格が安くなっているため、今年度灯油購入緊急助成事業は実施し

ませんが、緊急事情が生じた場合は、対応を図っていきま

す。融資については、信用保証協会保証料を県と1/2ずつ負担しており、商工会との連携により有利な制度を利用しています。資格者証は、できることならば発行しないようにしたいが、本人の都合により、資格を規定することも難しい状況にあります。なお、18歳未満の児童・生徒には、被保険者証を発行していません。

【新ごみ処理施設建設計画】

**問** 住民アンケート実施を決めたとのことだが、先ず問うべきは「生活環境影響調査」ではなく、「飯森候補地受け入れの是非」ではないですか。

**村長**

その両方を問いかけるられるアンケートを考えています。

**問**

民意を客観的に把握できる「住民投票」がもっとも望ましいとの立場は変わらないが、「住民アンケート」実施に際して村民の理解が進んだとの判断は早計であり、もっと説明や懇談の場が必要だと思いますが。

**村長**

住民説明会・講演会など時間をかける中で、一定の理解を得られたと思っています。

**問**

議会の「住民投票に近しい設問」との一致した要望が生かされれば、設問は単刀直入で良く、費用がかさむクロス集計も必要ないと思うが。

**村長**

集計には、それなりの方法があり、専門機関に任せたいと思います。

**問**

有効・無効の境界を含め判断基準は事前に明示すべきと思いますが。



安曇総合病院附属白馬診療所

**村長**

アンケートの内容、集計方法、回収率については、情報公開すべきものと思っています。

**問**

副連合長でもある小谷村小林村長のとった態度は、明らかなルール違反だと思いますが。

**村長**

白馬村として、色々な立場ではありません。

**問**

大町市は、現有施設の継続使用を視野に入れた具体的な検討を行なっ

ています。白馬山麓の施設についても調査を行ない、計画の長期凍結で継続使用に道を開くことを提案しますが。

**村長**

現有施設の耐用年数、寿命が延びるものであり、寿命が延びるものであります。広域化計画は、現有施設を十分検討した上で、費用対効果も踏まえ、先を見越して計画しています。